



令和4年1月12日（水）
国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所

記者発表資料

「R3利根川左岸矢田部堤防嵩上工事」及び「R3利根川左岸下小堀外情報管路敷設工事」において「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「余裕期間制度（フレックス方式）」採用します。

○ 利根川下流河川事務所では、「R3利根川左岸矢田部堤防嵩上工事」及び「R3利根川左岸下小堀外情報管路敷設工事」（公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式・地域防災実績評価型））を1月12日に公示しました。

○ 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

○ 「余裕期間制度（フレックス方式）」

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備作業を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、受注者が工事の始期と終期を全体工期内で選択することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、茨城県政記者クラブ、千葉県政記者会、神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所
副所長（技術） おおの ひろゆき 大野 宏之 工務課長 かわしま ふみお 川島 文夫

TEL 0478-52-6361（代表）

《工事概要》

1. R3利根川左岸矢田部堤防嵩上工事

- (1) 工事場所：茨城県神栖市矢田部
(2) 工期：契約の翌日から令和4年11月15日
 余裕期間制度（フレックス方式）を採用します。
(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
(4) 工事種別：一般土木工事C
(5) 工事内容：

| | | |
|-----------|----------------------|---------|
| 河川土工 | 1式 | |
| 築堤盛土 | 1,140m ³ | |
| 築堤盛土(ICT) | 18,200m ³ | |
| 法面整形工 | 1式 | |
| 法面整形(ICT) | 8,390m ² | |
| 植生工 | 1式 | |
| 張芝 | 8,390m ² | |
| 附帯道路工 | 1式 | |
| 下層路盤 | 3,276m ² | (坂路を含む) |
| 表層 | 3,276m ² | (坂路を含む) |
| 縁石工 | 53m | |
| 光ケーブル配管工 | 1式 | |
| 配管工 | 414m | |
| 仮設工 | 1式 | |

2. R3利根川左岸下小堀外情報管路敷設工事

- (1) 工事場所：①千葉県香取市下小堀
 ②茨城県神栖横瀬
(2) 工期：契約の翌日から令和5年3月24日
 余裕期間制度（フレックス方式）を採用します。
(3) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
(4) 工事種別：一般土木工事C+D
(5) 工事内容：

①【下小堀地区】

| | |
|----------|---------------------|
| 附帯道路工 | 1式 |
| 下層路盤 | 1,318m ² |
| 表層 | 1,320m ² |
| 光ケーブル配管工 | 1式 |
| 配管工 | 1,830m |
| ハンドホール | 7箇所 |
| 構造物撤去工 | 1式 |
| 舗装版切断 | 1式 |
| 舗装版破碎 | 1,330m ² |
| 殻運搬処分 | 72m ³ |
| 仮設工 | 1式 |

②【横瀬地区】

| | |
|----------|-------------------|
| 附帯道路工 | 1式 |
| 下層路盤 | 428m ² |
| 上層路盤 | 419m ² |
| 基層 | 421m ² |
| 表層 | 452m ² |
| 光ケーブル配管工 | 1式 |
| 配管工 | 576m |
| ハンドホール | 3箇所 |
| 構造物撤去工 | 1式 |
| 舗装版切断 | 1式 |
| 舗装版破碎 | 433m ² |
| 殻運搬処分 | 41m ³ |
| 仮設工 | 1式 |

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《余裕期間制度（フレックス方式）について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備作業を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、受注者が工事の始期と終期を全体工期内で選択することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《施工箇所が点在する積算方法の採用について》

R3利根川左岸下小堀外情報管路敷設工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用など、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書 交付：令和4年1月12日（水）

○競争参加資格確認申請書 提出期限：令和4年1月24日（月）

○入札書・工事費内訳書 提出期限：令和4年2月18日（金）

○開札日：令和4年2月24日（木）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

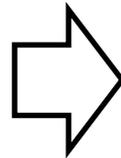
公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出

(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上